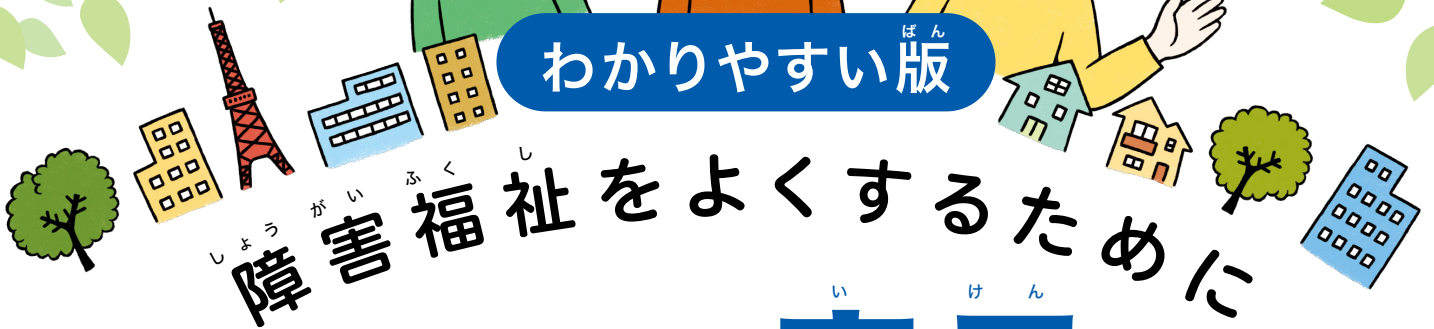




わかりやすい版



# 障害福祉をよくするために あなたの意見を 伝えてみませんか？

どの市町村も、障害のある人も ない人も  
くらしやすいまちに することを めざしています。

そのために、市町村では  
障害のある人の意見を聞きたいと  
考えています。

「こんなまちに なるといいな」  
「こういうところは 変えてほしい」

そんな意見を 伝える方法を  
このパンフレットに まとめました。



パンフレットは、一人で読んでも、仲間と読んでも いいですし、  
だれかに読んでもらっても いいのです。  
難しいことは、支援者や  
あなたのまちの役所の人に 聞いてみましょう。



# 1

## しょうがいふくしけいかく 障害福祉計画ってなに？

市町村が 障害のある人の 暮らしを より良くするため、  
また、必要な サービスや支援を  
受けられるように するため、

いつまでに 何をするか、

目標と 方法を 決める ものです。

障害福祉計画に 書いてあることは

市町村ごとに 違いますが、

目標には、例えば こんなことが 書いてあります。



東京都渋谷区の例

### 「目標」の例

## 目 標

1

障害のある人が **住み慣れた地域で**  
**自分らしく暮らし続けられるように**

2

障害のある人となない人が **わかりあい、**  
**お互いを大切に** できるように

3

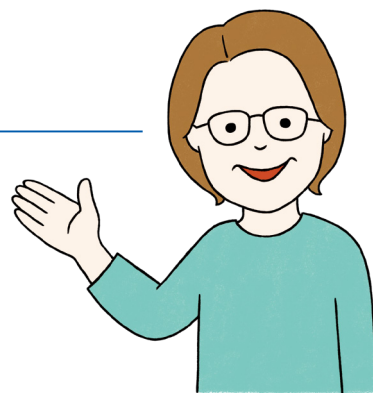
障害のある人が **安心して** **暮らせるように**

4

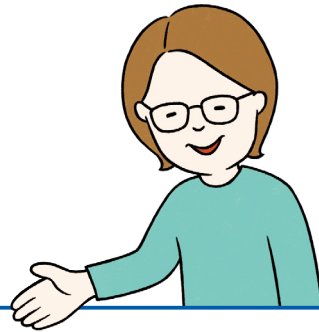
「働きたい」、「地域のひとと知り合いたい」、  
「余暇を楽しみたい」など **社会に参加できるように**

5

障害のある子どもが **必要な手助けを受け、**  
障害のない子どもと **ともに学び育つように**



もくひょう ほうほう  
目標のための 方法には、  
たと えば こんなことが 書いてあります。



## 「方法」の例

### 目 標

しょうがい ひと すみ 慣れた ちい き  
障害のある人が 住み慣れた地域で  
自分らしく 暮らし続けられるように

### 方 法

- ▶ びょういん しせつ から、ちい き での暮らしに  
戻れるよう 取り組みを 進めます
- ▶ しょうがい ひと が 暮らしやすい  
住宅や グループホームを 増やします
- ▶ しょうがい ひと や かぞく が  
相談しやすい しくみを つくります

しょうがいふくしけいかく  
「障害福祉計画」は しょうがい ひと いけん き  
障害のある人の意見を聞いて  
3年ごとにつくります。

けいかく  
計画を つくるためには、しょうがい ひと いけん たいせつ  
障害のある人の意見が大切で、  
やくしょ は、あなたの 意見を 聞きたいと 思っています。



## 知的障害のある人の意見

じぶん ための 「こべつしえんけいかく」や、  
「サービス等利用計画」は  
知っていたけど、みんなのための  
「しょうがいふくしけいかく」が あるとは 知らなかった。

まずは計画を見て、  
言えることがあれば 言ってみたいな。  
でも、ただ 計画の冊子を渡されても  
困ってしまう。

しょうがいふくしけいかく  
「障害福祉計画」について  
初めて 知りました。

# 2

## 意見を伝えるために どんな準備が必要？

知的障害のある人には、計画があることや 計画の内容は、  
ほとんど 知らされていません。

まず、あなたのまちの 障害福祉計画に  
どんなことが 書いてあるか 見てみましょう。

計画の 冊子や パンフレットは 役所で もらえます。

### 1 計画について 説明してもらおう

計画に どんなことが 書いてあるか  
説明してもらいましょう。例えば…

- いつも 相談に のってもらう人
- 通所先や 相談支援事業所の 職員

役所でも 説明会を しています。



### 2 計画を つかって 調べてみる

あなたや 友だちが 使っている サービスについて、  
計画の どこに どんなことが  
書いてあるか 調べたり、  
感想を 話し合ったり してきましょう。



#### 知的障害のある人の意見

住んでいる 市町村によって  
ガイドヘルプが  
使える時間が 違うんだって！  
違う市に 住んでいる人の 話で わかった。

新しく グループホームが  
できることを 初めて 知った。  
説明して ほしかったな。

使っている サービスなのに  
知らないことが 書いてあって 驚いた。

### 3 アンケートの 質問を使って 話し合ってみよう

計画をつくるまえ、障害のある人の意見を聞くために 役所が アンケートを します。

アンケートには、いろいろな質問が 書いてあります。例えば、

- 将来、どんな暮らしを したいか
- 困ったとき 誰に相談するか
- どんな手助けが 必要か などです。



あなたや 友だちの 意見を まとめるため、アンケートの 質問について 「シールで投票」で 話し合ってみましょう。

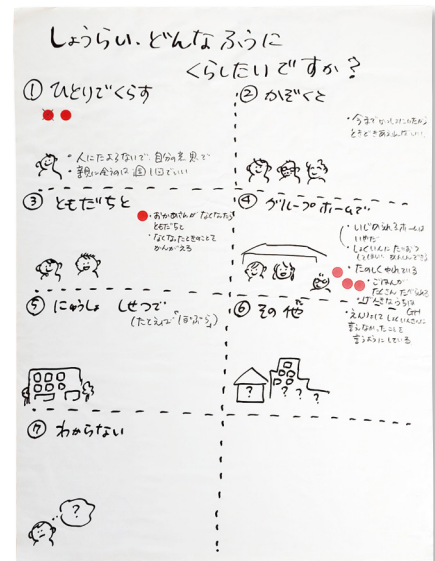
#### 「シールで投票」の やり方

準備

- 計画をよく知っている人に 司会を たのむ
- アンケートの 質問と 選択肢を 大きな紙に 書く(右の写真)

話し合い

- 司会は 質問と 選択肢を 説明する
- みんなで 質問と 選択肢について 話し合う
- 紙の あいている ところに 意見を 書く
- あてはまる 答えのところに シールなどで しるしをつける



#### 知的障害のある人の意見

「シールで投票」で いろいろ 話せて 楽しかった。アンケートは 字が 小さいから わからないけど、 みんなで 話し合っ て 意見が聞けてよかった。



将来 どこで 暮らしたいかという 質問が あった。同じ家で なくても、 自分の生まれ育ったところで くらしたいな。

地域で 暮らすために 必要な 支援という 質問があった。 障害者への 嫌なイメージを なくしてほしい。

# 3

## 意見を伝えるには どうしたらいいの？

大事なものは、アンケートの答えや  
サービスについての意見だけでは  
ありません。  
あなたがどんな暮らしをしているのか、  
これからどんな暮らしをしたいのか。  
役所の人、障害のある人の意見を  
知りたいと思っています。

あなたの意見や、  
みんなで話し合った意見、  
「シールで投票」の結果を、  
次のような人に伝えて、  
計画をつくる場に伝えてもらいましょう。

ただし、意見がそのまま  
計画にのるわけでは  
ありません。



- いつも相談にのってもらう人
- 通所先や相談支援事業所の職員
- 計画をつくるための会議の委員、  
例えば  
「自立支援協議会」の委員  
「計画策定委員会」の委員  
障害者団体の代表 など

くわしくは、相談支援事業所や、  
あなたのまちの役所の担当の人に  
きいてみましょう。



### 知的障害のある人の意見

区役所に直接行く方法もあるけど、  
どこに行けばいいかわからない。  
もうちょっと身近な話しやすい人に  
つなげるといい。

伝えたいことが、  
本当に伝わるか心配。  
でも自分で伝えることが大事。

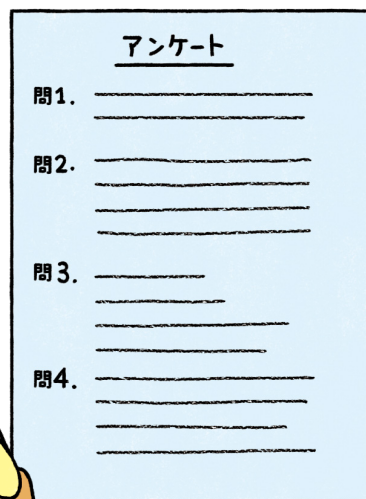


# いけん つた 意見を伝える ほうほう いろいろな方法

けいかく 計画をつくる場ばに いけん 意見を つた 伝えるには、  
ほうほう いろいろな方法が あ あります。

## 1 アンケートに こた える

しょうがい 障害のある人ひとの いけん 意見を き 聞くために、  
やくしょ 役所が あなた の家いえに  
アンケートを おく 送ることが あ あります。  
じぶん 自分で こた 答えることが むずか 難しければ、  
かぞく 家族に てつだ 手伝ってもらって  
こた 答えても い いいです。

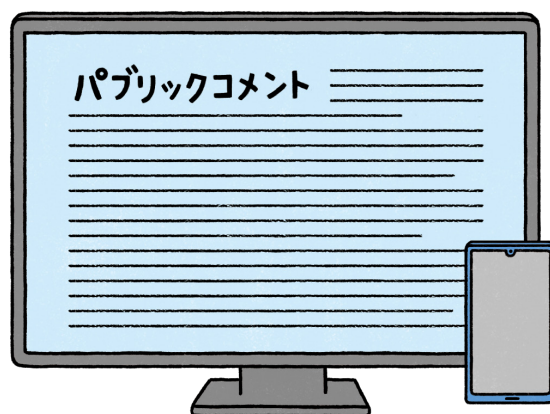


## 2 やくしょ 役所の人ひとの しつもん 質問に こた える

ちいき 地域によっては、  
やくしょ 役所の人ひとが しょうがい 障害のある人ひとのグループに  
はなし 話を聞きにくることがあります。

## 3 パブリックコメント に こた える

けいかく 計画の案あんができたあと、  
やくしょ 役所が ちいき 地域の人ひとの いけん 意見を ぼしゅう 募集します。  
これを「パブリックコメント」といいます。  
あなたは メール や ゆうびん 郵便で  
いけん 意見を だ 出すことができます。



ほうほう こうした方法が むずか 難しいと かん 感じる人ひとは た たくさんいます。  
この他にも、ほか 伝えやすい ほうほう 方法が あ るかもしれません。  
あなたの つた 伝えやすい方法ほうほうで いけん 意見を つた 伝えてみてください。

# もっと 知りたい人に

このパンフレットで 紹介したように、  
あなたの 意見を 誰かに 伝える方法 だけでなく、  
計画をつくる「委員」になり、  
みんなの意見を 伝える 方法も あります。  
委員には いろいろな 仕事があります。

会議の前

資料を読む、わからないことを調べる、  
みんなの意見をまとめる

会議の日

会議の場所に行く、  
他の委員の意見を聞く、  
意見を言う、質問する

会議の後

会議で言えなかったこと、  
質問できなかったことを  
役所の人に 伝える など



支援者向け  
パンフレットは  
こちらから!

「委員」の人に、計画をつくるための  
会議について 聞いてみましょう。

このパンフレットをつくれた 私たちのように  
本人活動グループで 話し合うのも いいですね!



パンフレットをつくれた人たち:

KT・Kyoko・田井みずき・SY(ぐっとあっぷがや)、  
浦野耕司(渋谷なかよしぐるーぷ)、笠原千絵(上智大学、制作責任者)

協力: 一般社団法人スローコミュニケーション

デザイン: 信田千絵

発行: 2025年2月

このパンフレットは、科学研究費基盤研究(C) 課題番号20K02190「地域生活の評価と福祉計画策定過程の参加に向けた知的障害者とのインクルーシブ調査」の助成を受けて作りました。